

イーストスプリング インド投資マンスリー

2021年12月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

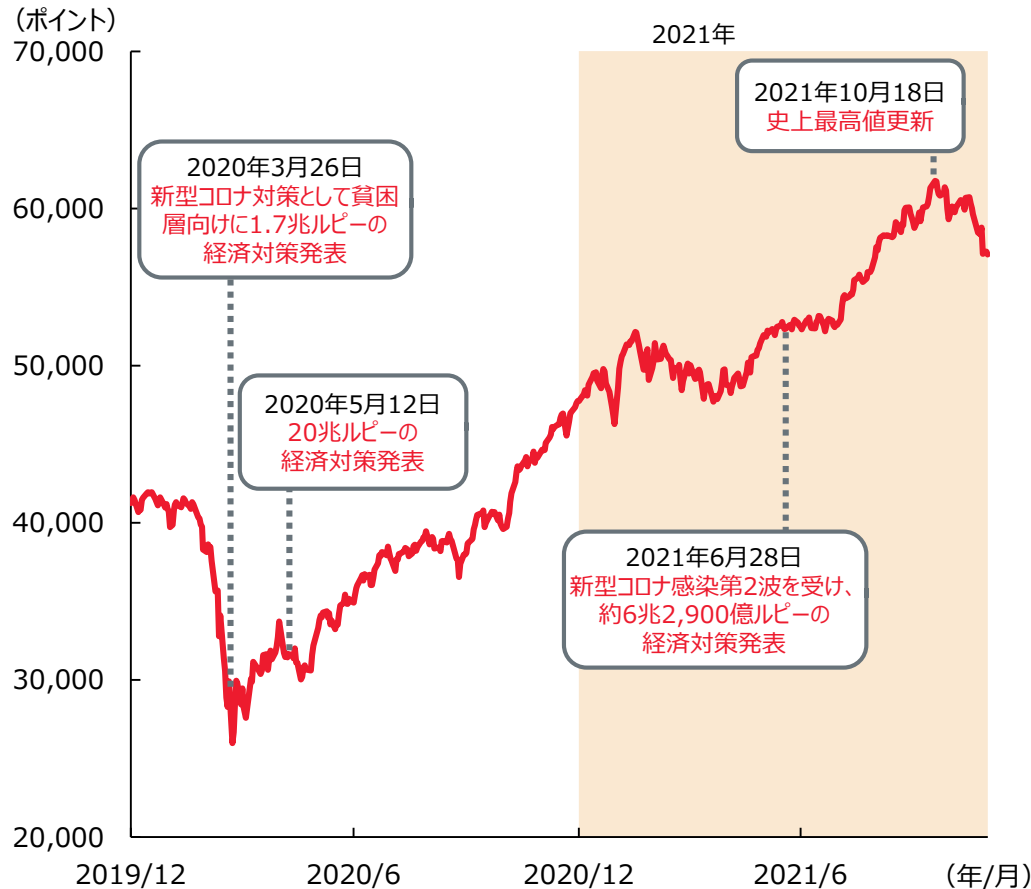
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー動画配信中！



株式：新型コロナウイルス変異株への警戒感などから下落

SENSEX指数の推移 (日次、2019年12月末～2021年11月末)



2021年11月の振り返り

SENSEX指数は、米連邦準備制度理事会（FRB）による資産買い入れ額縮小の開始と新型コロナウイルス変異株（オミクロン株）の世界的な感染拡大への警戒感からリスク回避の動きが広がり、月間で3.8%の下落となりました。

金属、銀行、自動車株は月を通して冴えない値動きとなり下落した一方、電力、ITサービス、ヘルスケア株は上昇しました。通信大手が収益にとって重要なプリペイド通信料金を20%以上値上げしたため電気通信サービスセクターに注目が集まりました。

売買動向では、海外機関投資家はインド企業のIPOやMSCIの銘柄入れ替えに伴うバランスを背景とした資金流入が見られたものの売り越しとなりました。一方、国内機関投資家は投資信託や保険などの金融機関を中心に海外投資家の売り越し分を上回る買い越しとなりました。

規模別指数の期間別騰落率 (2021年11月末時点)

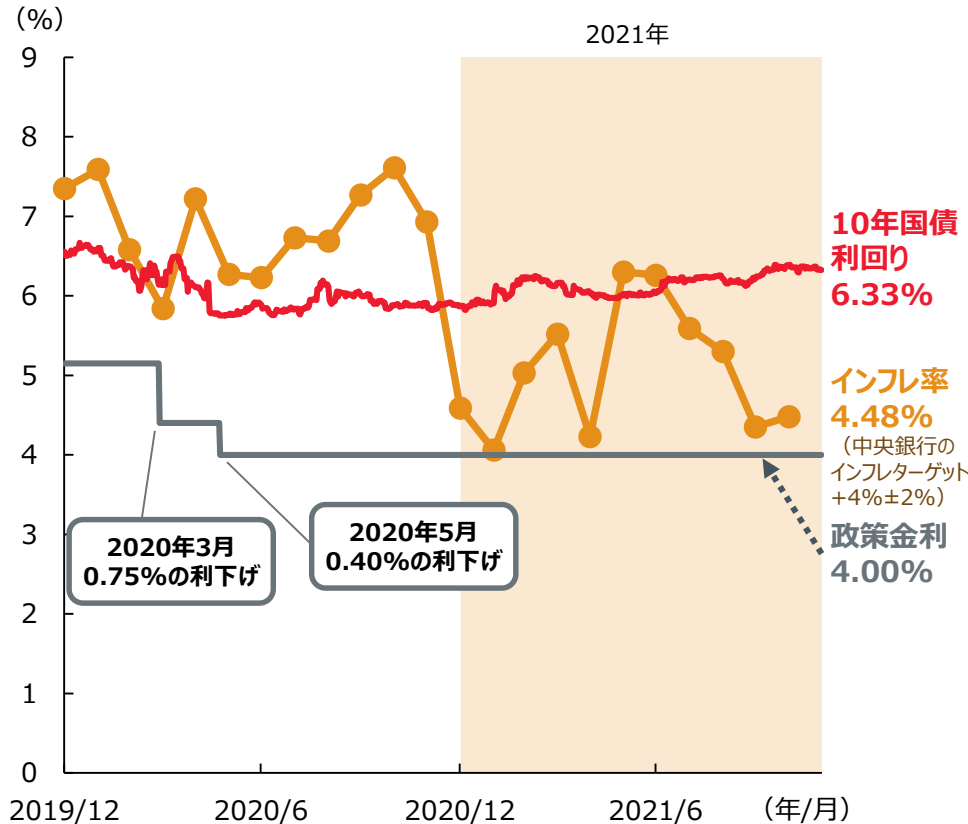
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	-3.8%	-0.8%	+9.9%
中型株 (BSE中型株指数)	-2.3%	+3.5%	+13.5%
小型株 (BSE小型株指数)	-0.2%	+3.8%	+18.4%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※すべて配当無し（プライス）、インドルピーベース。

債券：インフレ率は小幅上昇、債券利回りは低下

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(日次、2019年12月末～2021年11月末)



2021年11月の振り返り

10年国債利回りは低下（価格は上昇）し、6.33%で月を終えました。インド国債の利回りは、南アフリカで確認された新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）の感染拡大への懸念から相対的に安全資産とされる債券の買いにつながり低下しました。原油価格が需要見通し悪化を背景に急落したことも、インフレへの警戒感が高まっていた債券市場の支援材料となりました。インフレ率は前年同月比+4.48%と9月から小幅上昇しましたが、インド政府は、インフレ上昇の抑制や景気刺激を目的としてガソリンや軽油を対象とした燃料税の引き下げを発表しています。

銀行間コールレートは、政策金利である4.00%を下回ったままで、10月末の3.25%から11月末は3.00%に低下しました。銀行システムの流動性に関して、過剰な流動性の吸収のため、リバース・レポ入札を開始、2日に5,000億ルピーの最初の入札を実施しました。

インド準備銀行（中央銀行、RBI）の発表によると、15日までの2週間で、銀行の貸出残高と預金残高はそれぞれ前年比7.14%、11.42%の増加となりました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2021年11月末	2021年10月末	変化幅
10年国債利回り	6.33%	6.39%	-0.06%
10年社債利回り***	6.95%	7.03%	-0.08%
利回り差	0.63%	0.65%	-0.02%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レポ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2021年10月分まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

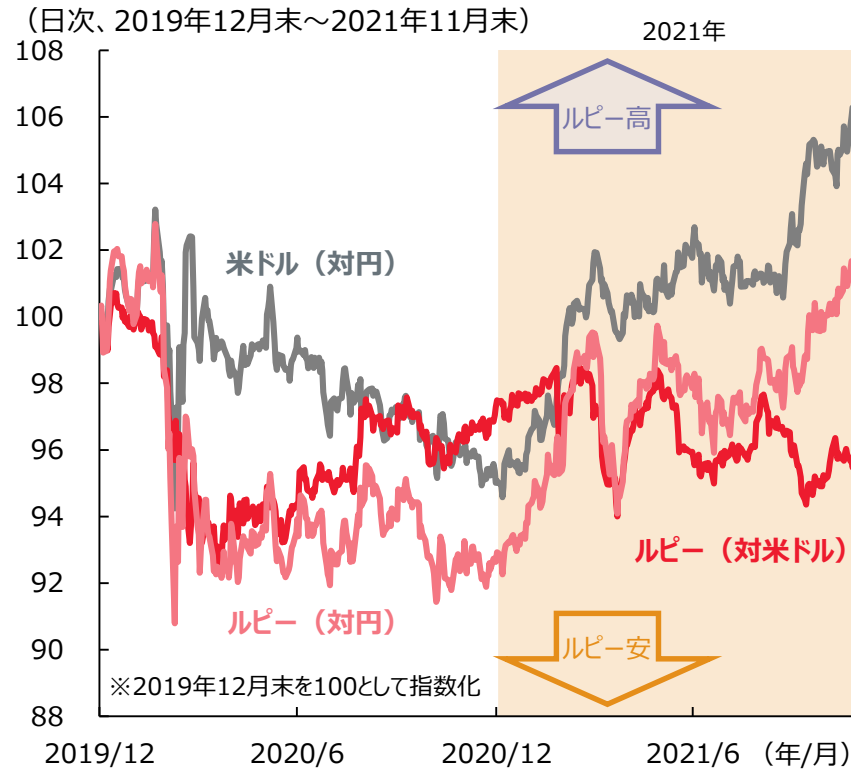
※10年国債は、2020年5月の途中で銘柄が変更されました。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

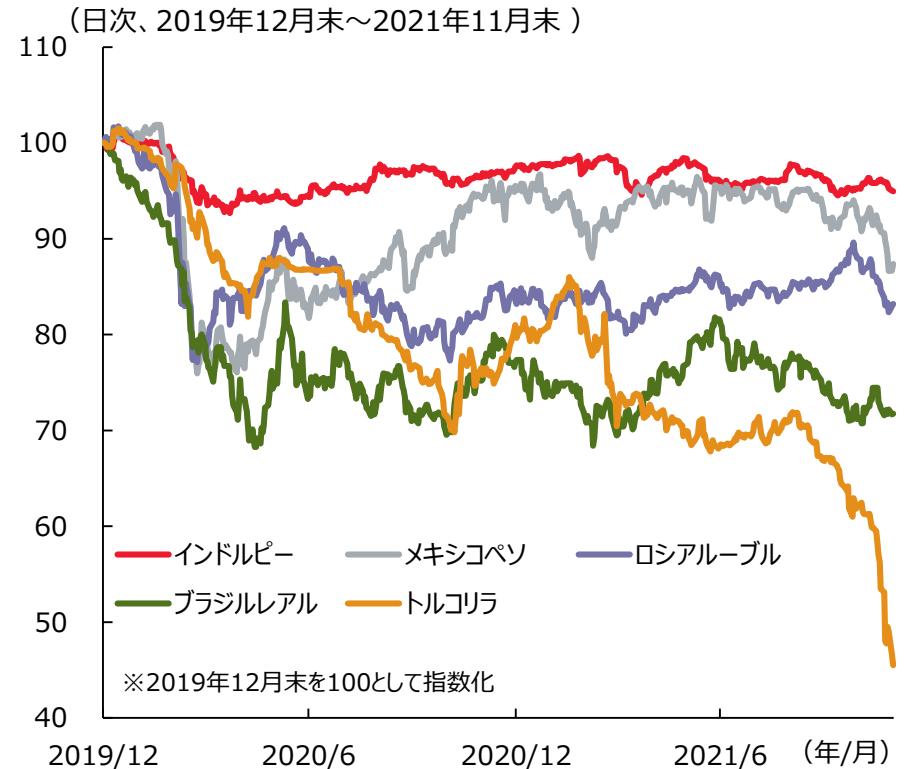
為替：ルピーは対米ドル、対円ともに下落

- 11月のルピーは、対米ドルで0.3%、対円で1.1%の下落となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨に比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。
- インド準備銀行は通貨安定のため外貨準備を積み増しており、過去最高水準を維持しています。

ルピー（対円、対米ドル）の推移



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

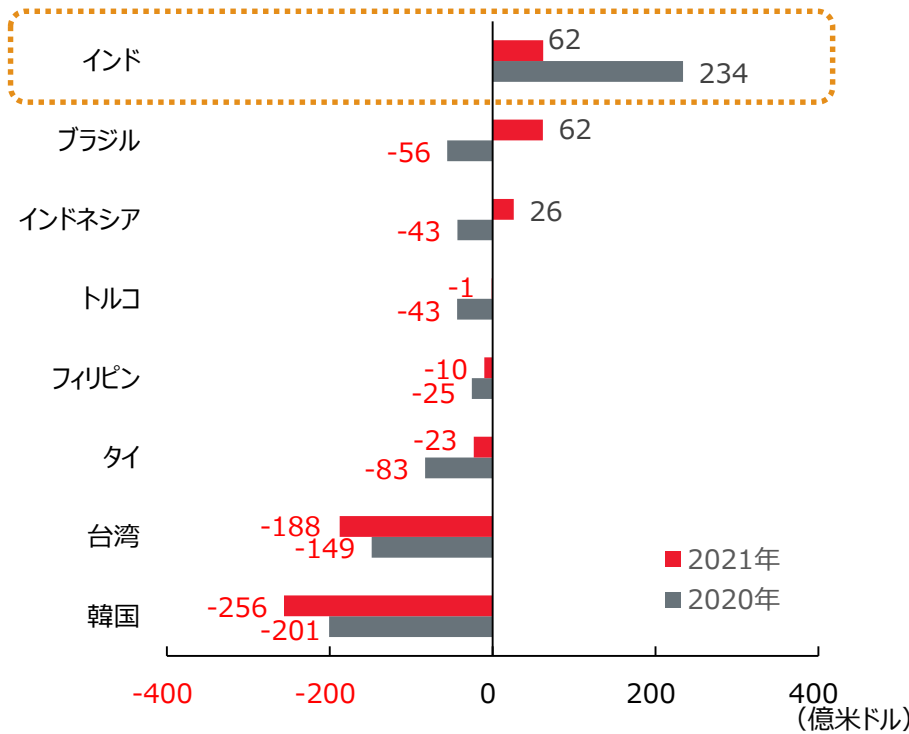


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

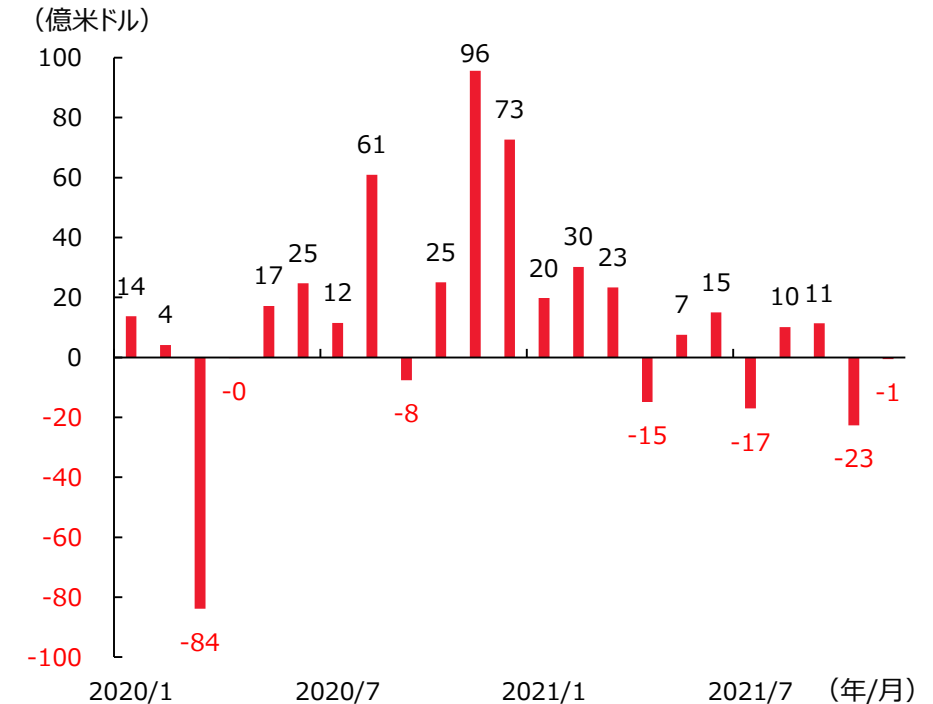
新興国における外国人投資家の資金流出入の推移

- 2020年、2021年の新興国株式市場をみると、資金流出となっている市場が多い一方、インド株式市場へは資金流入が続いています。
- 単月で見ると、11月のインド株式市場における外国人投資家の資金は10月に続きわずかに流出となりました。

新興国株式市場における外国人投資家の資金流出入
(2020年、2021年*)



インド株式市場における外国人投資家の資金流出入の推移
(月次、2020年1月～2021年11月)



出所：IIF（国際金融協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*2021年は11月まで。※2020年11月以降については同協会による推計値。

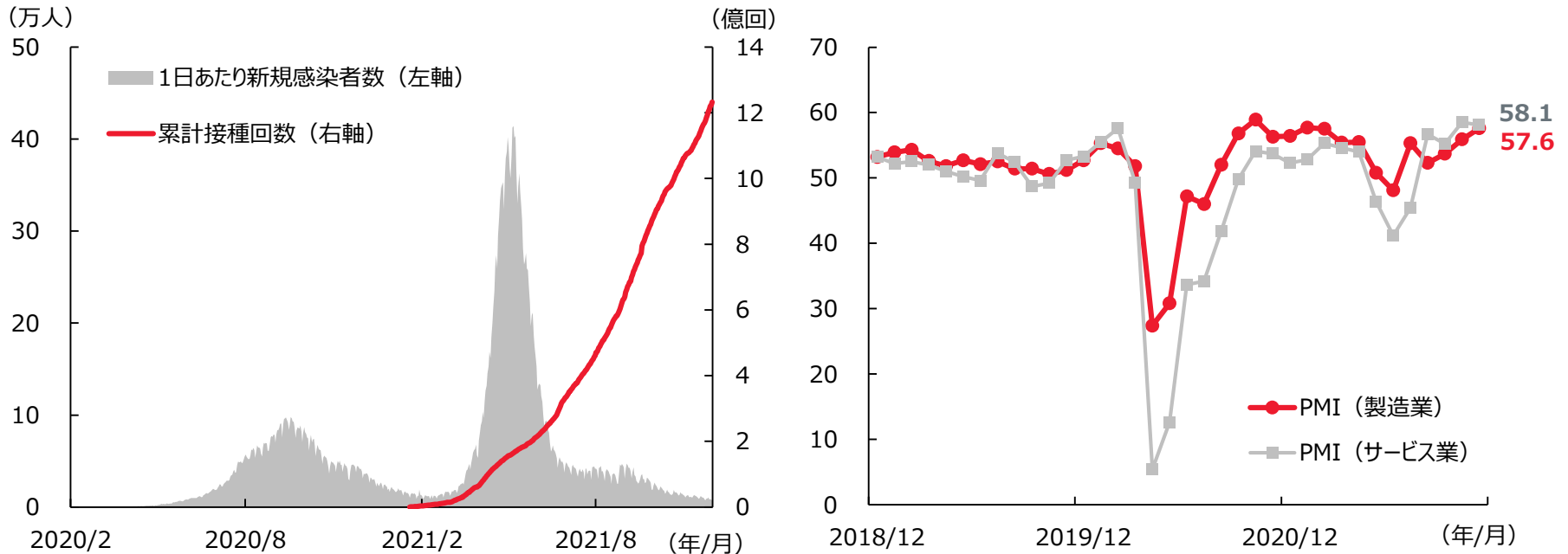
新型コロナウイルス感染状況の落ち着きなどから、景況感は改善傾向

- 11月末現在、新型コロナウイルスの1日当たりの新規感染者数（7日間移動平均）は約0.9万人となり、落ち着いた感染状況となっています。また、ワクチン接種はのべ約12億6千万回行われ、1回以上接種した人は人口の約57%となっています。
- 企業の景況感を示すPMI（購買担当者景気指数）は、製造業、サービス業ともに節目となる50を上回っています。生産活動の加速的な回復により、11月の製造業PMIは57.6となりました。

インドのコロナ新規感染者数とワクチン累計接種回数の推移 日経インドPMI（季節調整済み）の推移

（日次、2020年2月1日～2021年11月30日）

（月次、2018年12月～2021年11月）



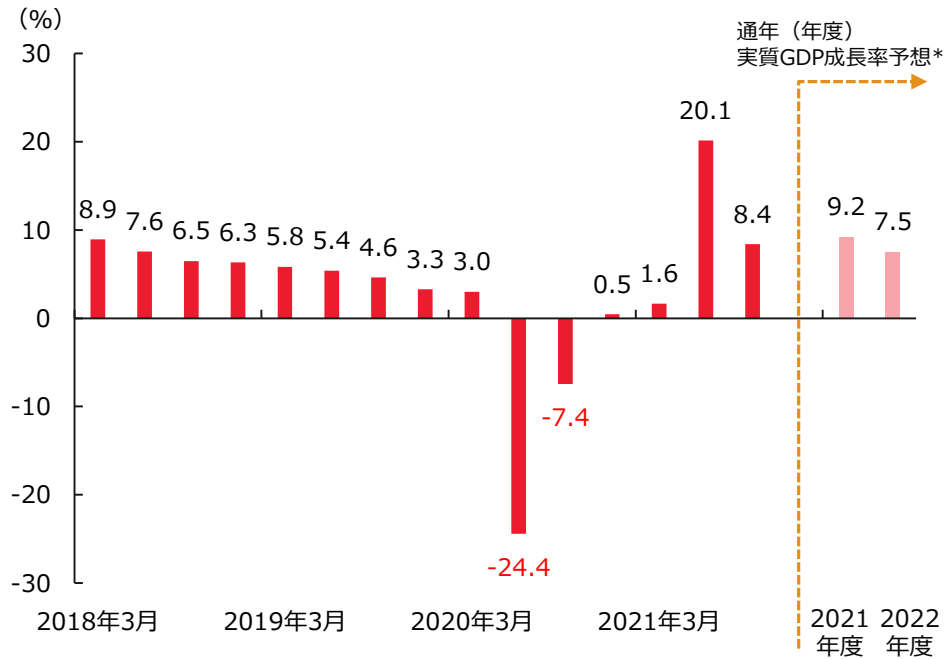
出所：CEIC、ICICIAM、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※インドのワクチン接種は2021年1月16日から開始。データは1月19日から

堅調な景気回復を示すGDP成長率、企業利益の伸びも期待

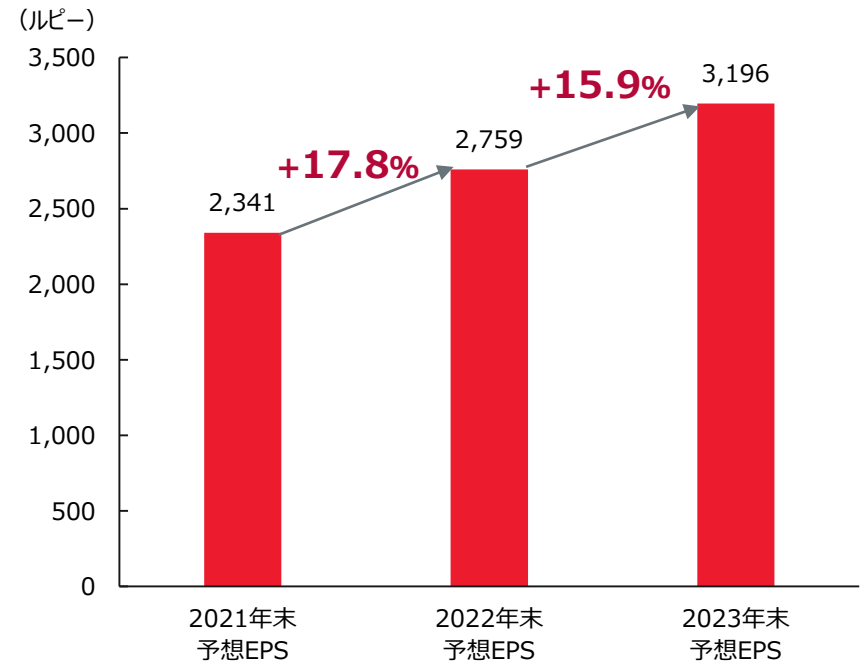
- 2021年7-9月期の実質GDP（国内総生産）成長率は、好調な個人消費などを背景に、前年同期比8.4%増となりました。2021年度、2022年度通年のGDP成長率も高い成長が予想されています。
- 企業業績も回復傾向にあり、主要企業の予想1株当たり利益（EPS）は、高い伸びが見込まれています。

GDP成長率（四半期、前年同期比）の推移

（2018年1-3月期～2021年7-9月期、2021年度、2022年度は予想）



SENSEX指数の予想1株当たり利益（EPS）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 *予想はBloombergエコノミスト予想の中央値。2021年12月3日時点。
 予想EPSは2021年12月5日時点のBloombergコンセンサス予想。
 ※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば、2021年度は2021年4月～2022年3月。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会